

科目名	理容技術理論	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1 通
授業時数	120時間	単位数	4単位
授業方法	講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	秋山 美絵	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. 技術実習と並行して技術基礎、特殊技術から機械器具の種類・特徴・目的など使用上の注意点を学ぶ。 II. 理容にたずさわる手技、ヘアデザイン・ヘアカット・ヘアセット・パーマ ネットセット・ヘアカラーリング・シェービング・エステ・クリニック・シャンプー＆リンス・マッサージ・トリートメント・スキャルプトリートメントの基礎を施術と並行して学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容技術理論1・理容技術理論2		
成績評価の方法 ・基準	授業態度・平常点・出席率等及び期末テストの点数を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、国家試験合格のため積極的に学習してほしい。		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第4回目	理容技術の基礎	理容理論を学ぶにあたって・理容技術 人体各部の名称・技術姿勢・トレーニング方法
第5回目 ～ 第8回目	理容用具	理容と用具・用具と衛生・刃物 理容道具（シザーズ・レザー・クリッパーなど）
第9回目 ～ 第12回目	ヘアデザイン	ヘアスタイリングとデザイン デザインの要素・ヘアスタイル
第13回目 ～ 第16回目	ヘアカット	観測法・カットの基本原則と一般の手順 スタンダードヘア・デザインヘア・レディースカット
第17回目 ～ 第20回目	ヘアセット	ヘアセットの種類・実際 レディースヘアのスタイリング
第21回目 ～ 第24回目	パーマネットセット	ワインディング・ゴールド二浴式ウェーブの一例 アイアニング・形状記憶デジタルパーマ
第25回目 ～ 第28回目	ヘアカラーリング	色彩の原理・染毛剤の種類と原理、安全性 ヘアカラーリング技術のプロセス
第29回目 ～ 第32回目	シェービング	シェービングの要件、種類、基本技術、プロセス メンズフェイス、ネックシェービング
第33回目 ～ 第36回目	理容エステティック	スキン・フェイシャル・ハンド・フットケア アロマセラピー
第37回目 ～ 第40回目	理容クリニック	ヘアクリニック・毛髪の基礎知識 頭皮の基礎知識
第41回目 ～ 第44回目	シャンプー・リンス	シャンプーの方法・技法 リンス
第45回目 ～ 第48回目	理容マッサージ	マッサージの意義と効果・マニピュレーション ヘッドマッサージ・クリニックマッサージ
第49回目 ～ 第52回目	ヘアトリートメント	ヘアトリートメントの種類と一例
第53回目 ～ 第56回目	スキャルプトリートメント	スキャルプトリートメントの種類と一例
第57回目 ～ 第60回目	国家試験対策	国家試験の合格へ向けた問題演習①

科目名	サロンマナー	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1後
授業時数	30時間	単位数	1単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	理容師・美容師として必要不可欠な基本的サロンマナーを習得するため、見だしなみ・言葉遣い・電話対応の仕方・接客・カウンセリングなど、実務に即した内容を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	実際のサロンにおいて、お客様との挨拶や日常会話から気配りなど、接客コミュニケーション能力の向上を目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 日本理容美容教育センター ビジネスマナー		
成績評価の方法 ・基準	出席率及び授業に対する姿勢を考慮し評価する。		
履修に当たって の留意点	実社会で役立つ、生きた思考と技術を身につけるために、常に自ら考えるという習慣を備えてほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目	社会人としての基本①	職場での基本モラル
第2回目	社会人としての基本②	職場での身だしなみ（清潔感とファッション）
第3回目	社会人としての基本③	職場での人間関係
第4回目	正しい動作①	あいさつ（あいさつの角度と角度に合った目的）
第5回目	正しい動作②	基本動作
第6回目	言葉使い①	話し方・聞き方（言葉遣いと言いまわし）
第7回目	言葉使い②	敬語（嫌味、イジメではない伝え方など）
第8回目	言葉使い③	人の呼び方（攻撃的にならない注意の仕方など）
第9回目	接客の基礎①	接遇
第10回目	接客の基礎②	接客対応
第11回目	接客の基礎③	実践トレーニング（報告の仕方）
第12回目	電話対応の基礎	電話の受け方・かけ方（メモの取り方・5W/3H）
第13回目	一般常識	名刺交換・紹介など（上司との座り位置関係）
第14回目	ロールプレイング①	サロンマナートレーニング
第15回目	ロールプレイング②	サロンマナートレーニング

科目名	理容実習	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1 前
授業時数	330時間	単位数	11単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	関根 孝明・秋山 美絵	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. スタンダードヘア・デザインヘア・ヘアセッティング・パーマネントウェービング アイアニング・ヘアカラーリング・シェービングの基礎技術を習得する。 II. 理容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニクに 対応できる為の実践技術を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習 1・理容実習 2		
成績評価の方法 ・基準	理容実習の出席率及び受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、技術の習得はウィッグ・相モデルでの施術を行います。自ら訓練し、資格取得に努力してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第11回目	ヘアカッティング① シェービング①	基本姿勢・姿勢の変化
第12回目 ～ 第22回目	ヘアカッティング② シェービング②	スタンダードヘアカットの用具の持ち方と操作 レザーの持ち方と操作
第23回目 ～ 第33回目	ヘアカッティング③ シェービング③	スタンダードヘアのカット技法 ラザーリング (襟・フェイシャル)
第34回目 ～ 第44回目	ヘアカッティング④ シェービング④	ミディアムヘア (クリッパーワーク) 襟付け・ふき取り (襟)
第45回目 ～ 第55回目	ヘアカッティング⑤ シェービング⑤	ミディアムヘア (後頭下部・ぼかし) シェービング (ラザーリング・運行順番 1)
第56回目 ～ 第66回目	ヘアカッティング⑥ シェービング⑥	ミディアムヘア (後頭部) シェービング (ラザーリング・運行順番 2)
第67回目 ～ 第77回目	ヘアカッティング⑦ シェービング⑦	ミディアムヘア (左側頭部・左髪際部) シェービング (ラザーリング・運行順番 3)
第78回目 ～ 第88回目	ヘアカッティング⑧ シェービング⑧	ミディアムヘア (右側頭部・右髪際部) シェービング (ラザーリング・運行順番 4)
第89回目 ～ 第99回目	ヘアカッティング⑨ シェービング⑨	ミディアムヘア (天頂部) シェービング (てん包・密着)
第100回目 ～ 第110回目	ヘアカッティング⑩ シェービング⑩	ミディアムヘア (セニング) シェービング (てん包・密着・清拭法 1)
第112回目 ～ 第121回目	ヘアカッティング⑪ シェービング⑪	ミディアムヘア (40分) シェービング (てん包・密着・清拭法 2)
第123回目 ～ 第133回目	ヘアカッティング⑫ シェービング⑫	ミディアムヘア (35分) シェービング (マッサージ 1)
第134回目 ～ 第144回目	ヘアカッティング⑬ シェービング⑬	ミディアムヘア (30分) シェービング (マッサージ 2)
第145回目 ～ 第155回目	ヘアカッティング⑭ シェービング⑭	ミディアムヘア (30分)・セニング (5分) 襟付け・シェービング (25分)
第156回目 ～ 第165回目	期末試験	ミディアムヘア (30分)・セニング (5分) 襟付け・シェービング (25分)

科目名	理容実習	学科名	理容師学科
分類	必修	配当年次・学期	1 後
授業時数	360時間	単位数	12単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	関根 孝明・秋山 美絵	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. シェービング・ハンドケア・フットケア・ヘアクリニック・シャンプーイング& リンシングヘッドマッサージ・クリニックマッサージの基礎技術を習得する。 II. 理容師国家試験合格にむけての基礎実技を習得し、サロンワークテクニックに 対応できる為の実践技術を学ぶ。		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	厚生労働大臣認定 理容師国家資格		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習 1・理容実習 2		
成績評価の方法 ・基準	理容実習の出席率及び受講態度、学期末試験成績		
履修に当たって の留意点	授業は、一斉授業を基本に実施するが、技術の習得はウィッグ・相モデルでの施術を行います。自ら訓練し、資格取得に努力してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第12回目	サロン実践①	シェービング（刃の入れ方・使い方） シャンプーまでのお客様案内（クロスのつけ方）
第13回目 ～ 第24回目	サロン実践②	シャンプー（流し方・手順）トリートメント 頭皮マッサージ
第25回目 ～ 第36回目	サロン実践③	カラー塗布（リタッチ・2タッチ・特殊カラー） トレーニングクリーム使用
第37回目 ～ 第48回目	サロン実践④	カッティング応用（セニング・レザー・ チョップカット・スライドカット）
第49回目 ～ 第60回目	サロン実践⑤	パーマ（スパイラル・ツイストスパイラル・ 波巻き・ピンパーマ）
第61回目 ～ 第72回目	サロン実践⑥	デザインヘアー（カット・パーマ・カラーなどを使い 流行を取り入れたスタイル）
第73回目 ～ 第84回目	サロン実践⑦	デザインヘアー（カット・パーマ・カラーなどを使い 刈り上げを活かしたスタイル）
第85回目 ～ 第96回目	サロン実践⑧	デザインセット（アイロン・コテ・スタイリング）
第97回目 ～ 第108回目	サロン実践⑨ 国家試験対策①	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第109回目 ～ 第120回目	サロン実践⑩ 国家試験対策②	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第121回目 ～ 第132回目	サロン実践⑪ 国家試験対策③	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第133回目 ～ 第144回目	サロン実践⑫ 国家試験対策④	モデル実習 ミディアムカッティング・シェービング・衛生
第145回目 ～ 第156回目	国家試験対策⑤	国家試験実技シミュレーション①
第157回目 ～ 第168回目	国家試験対策⑥	国家試験実技シミュレーション②
第169回目 ～ 第180回目	国家試験対策⑦	国家試験実技シミュレーション③

科目名	総合実習	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1 前
授業時数	120時間	単位数	4単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. 理容実習及び理容技術理論を基に、サロンワークに対応できる 実践基礎技術を学ぶ。 【エステティック（フェイシャル、ハンド）・シェービング・シャンプー・ ブロー・ヘアセットなど】		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	理容技術者として理容技術及び知識を、サロンワークで実践できることを目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習1 ・ 理容実習2		
成績評価の方法 ・基準	総合実習の履修時間、日常の受講態度		
履修に当たって の留意点	社会に出て、即戦力になるため自ら考え行動する技術を身につけ、学習してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第4回目	総合実習①	エステティック基礎①フェイシャルマッサージ
第5回目 ～ 第8回目	総合実習②	エステティック基礎②フェイシャルマッサージ
第9回目 ～ 第12回目	総合実習③	エステティック基礎③フェイシャルマッサージ
第13回目 ～ 第16回目	総合実習④	バックシャンプー①・ブロー技術
第17回目 ～ 第20回目	総合実習⑤	バックシャンプー②・ブロー技術
第21回目 ～ 第24回目	総合実習⑥	スタンドシャンプー①・ブロー技術
第25回目 ～ 第28回目	総合実習⑦	スタンドシャンプー②・ブロー技術
第29回目 ～ 第32回目	総合実習⑧	スカルプマッサージ①
第33回目 ～ 第36回目	総合実習⑨	スカルプマッサージ②
第37回目 ～ 第40回目	総合実習⑩	スカルプマッサージ③
第41回目 ～ 第44回目	総合実習⑪	ネイル技術①ハンドマッサージ
第45回目 ～ 第48回目	総合実習⑫	ネイル技術②ハンドマッサージ
第49回目 ～ 第52回目	総合実習⑬	シェービング技術①
第53回目 ～ 第56回目	総合実習⑭	シェービング技術②
第57回目 ～ 第60回目	総合実習⑮	シェービング技術③

科目名	総合実習	学科名	理容師学科
分類	選択必修	配当年次・学期	1 後
授業時数	60時間	単位数	2単位
授業方法	実習・講義	企業等との連携	○：該当
担当教員	伊藤 智佳子	実務経験のある 教員科目	○：該当 ○
科目概要	I. 理容・美容実習及び理容・美容技術理論を基に、サロンワークに対応できる実践基礎技術を学ぶ。 【マッサージ・ヘアカット・パーマ・カラー・シャンプー・ブロー・ヘアセットなど】		
到達目標 (目標検定・資格を含む)	美容技術者としてビューティ技術のスキルアップ及び知識の向上を目標とする		
使用教材・教具 (使用するテキスト等)	公益社団法人 理容師美容師試験研修センター 理容師実技試験 技術の解説 公益社団法人 日本理容美容教育センター 理容実習1・理容実習2		
成績評価の方法 ・基準	総合実習の履修時間、日常の受講態度		
履修に当たって の留意点	美容・理容の授業で学んだ技術を、実社会で活かせるよう訓練してほしい		

授業計画	テーマ	内容
第1回目 ～ 第2回目	総合実習①	サロンワーク基礎 (挨拶・マナー)
第3回目 ～ 第4回目	総合実習②	サロンワーク基礎 (バックシャンプー・ブロー①)
第5回目 ～ 第6回目	総合実習③	サロンワーク基礎 (バックシャンプー・ブロー②)
第7回目 ～ 第8回目	総合実習④	サロンワーク基礎 (スタンドシャンプー・ブロー①)
第9回目 ～ 第10回目	総合実習⑤	サロンワーク基礎 (スタンドシャンプー・ブロー②)
第11回目 ～ 第12回目	総合実習⑥	サロンワーク基礎 (セット面での接客①)
第13回目 ～ 第14回目	総合実習⑦	サロンワーク基礎 (セット面での接客②)
第15回目 ～ 第16回目	総合実習⑧	サロンワーク基礎 (カウンセリング①)
第17回目 ～ 第18回目	総合実習⑨	サロンワーク基礎 (カウンセリング②)
第19回目 ～ 第20回目	総合実習⑩	サロンワーク基礎 (シェービング①)
第21回目 ～ 第22回目	総合実習⑪	サロンワーク基礎 (シェービング②)
第23回目 ～ 第24回目	総合実習⑫	サロンワーク基礎 (シェービング③)
第25回目 ～ 第26回目	総合実習⑬	サロンワーク応用 (カット・カラー・パーマ①)
第27回目 ～ 第28回目	総合実習⑭	サロンワーク応用 (カット・カラー・パーマ②)
第29回目 ～ 第30回目	総合実習⑮	サロンワーク応用 (カット・カラー・パーマ③)